悪役令嬢に転生したけど、
フラグ管理諦めました

著 sigure

R18
For Adult only

この漫画の著作権は作者（絶対気まぐれ宣言/sigure）にあります。

無断転載・複製・複写・Web上へのアップロードは厳禁です。
（SNS・ネットオークション・フリマアプリ含む）

この漫画を作者に許可なくインターネット上にアップロードする行為は犯罪です。
（著作権法23条）10年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金
またはその両方が同時に科せられます。（著作権法第119条第1項）

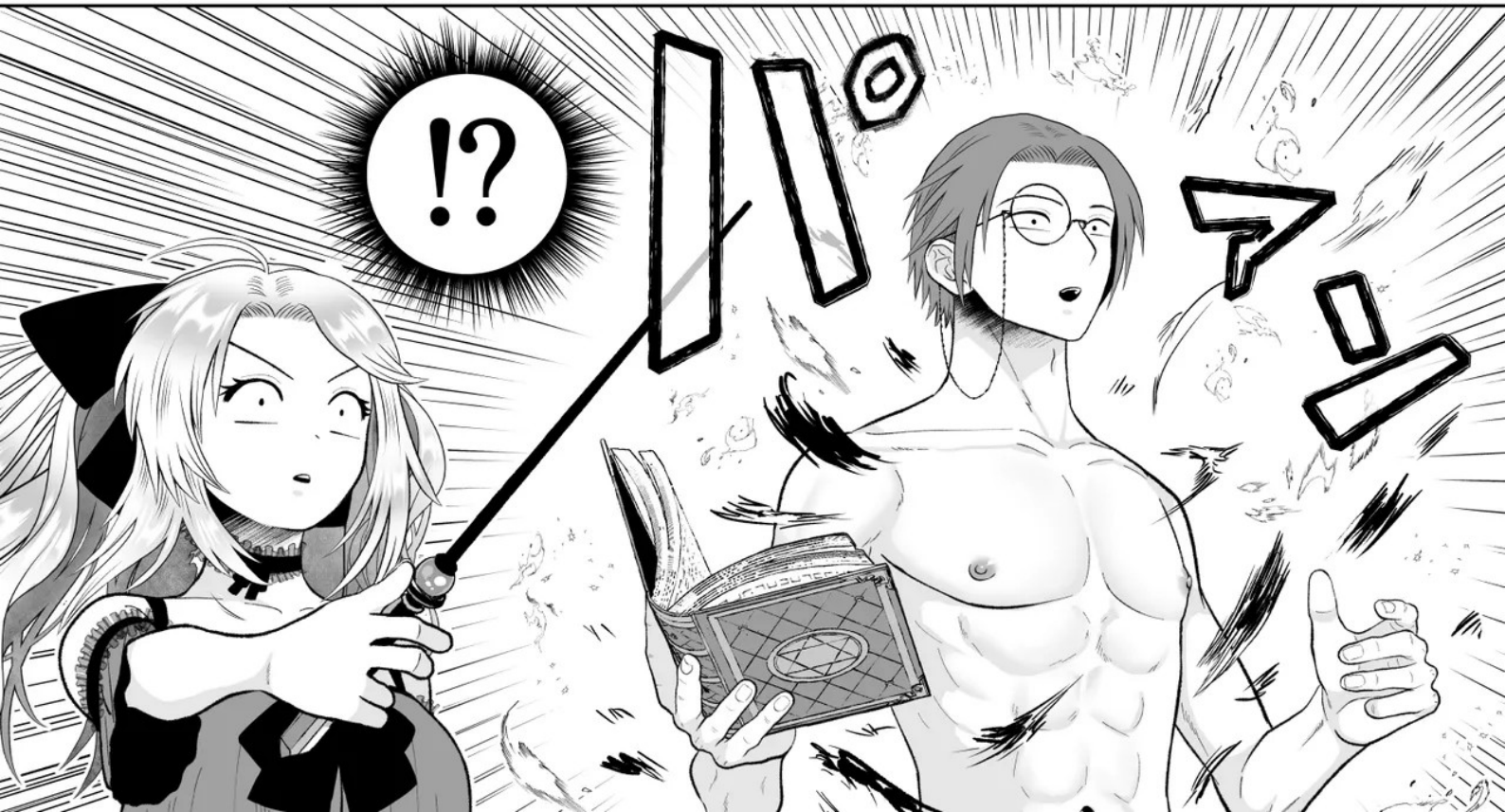
WARNING:
The producer of this WORK(Book and Do-Jinshi) has not permitted following,
・Reproduction of this WORK.
・Making of all of means of copies of this WORK.
・Resale of this WORK.
・This WORK is done in the scanning and uproad to the Wired network
(The Wired network includes SNS・P2P and etc.).

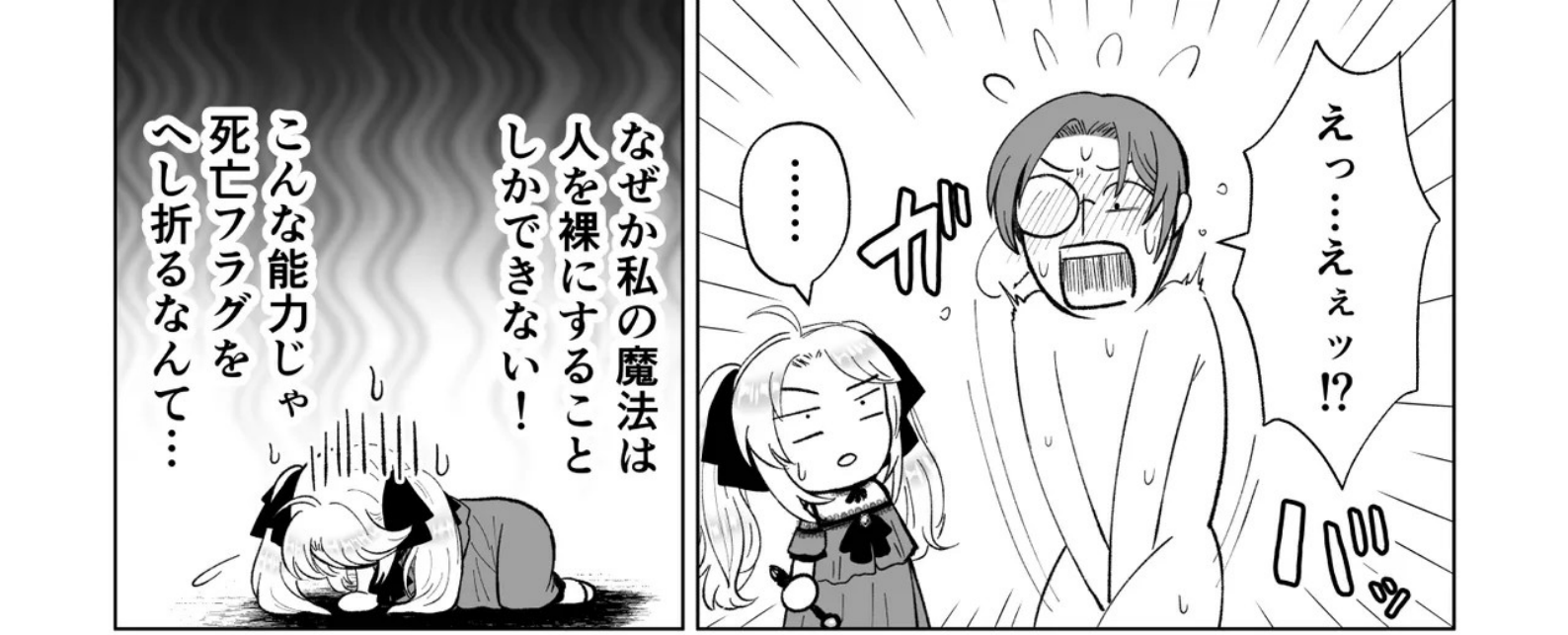
The producer of this WORK prohibits sharing the WORK by the Wired network and the resale.

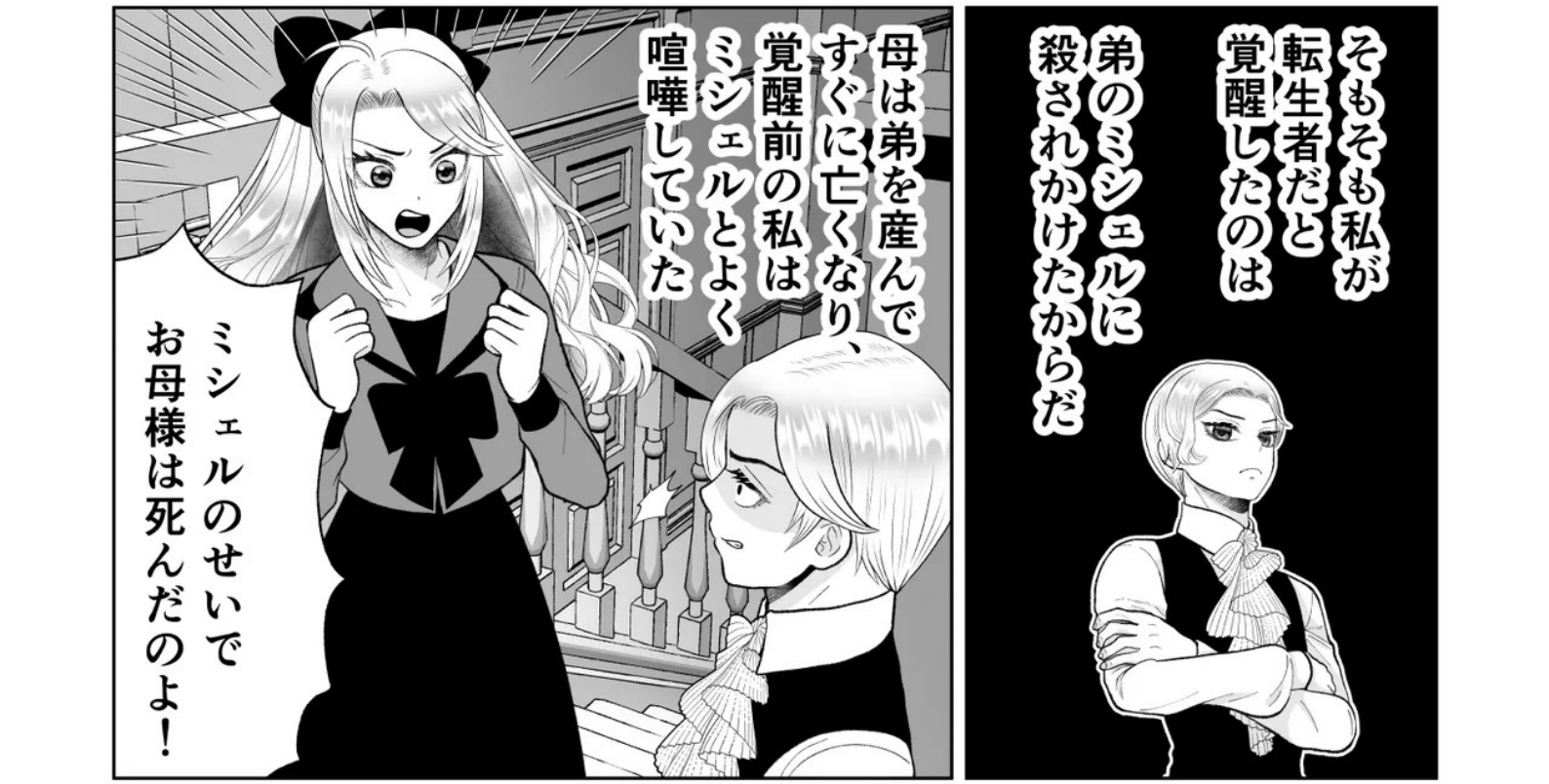
この物語はフィクションです。実在する人物や団体などとは一切関係ありません。

私の名前は
イザベラ・フォン・ヴァロワ
死亡フラグが多すぎて
「死にゲー」と言われた
乙女ゲームの悪役令嬢に
転生してしまった

ゲームの攻略情報は
覚えていない…
せめて身を守る為にと
魔法を習っているが…
さぁ、お嬢様
まずは一番簡単な
攻撃魔法から
使ってみましょう
はい！
えいっ！
キィーン


!?
ハロ
アロ


えっ…えぇッ!?
……
なぜか私の魔法は
人を裸にすること
しかできない！
こんな能力じゃ
死亡フラグを
へし折るなんて…


そもそも私が
転生者だと
覚醒したのは
弟のミシェルに
殺されかけたからだ
母は弟を産んで
すぐに亡くなり、
覚醒前の私は
ミシェルとよく
喧嘩していた
ミシェルのせいで
お母様は死んだのよ！

この言葉に怒った
ミシェルは階段から
私を突き落とした
運よく死ななかったが
ミシェルとの仲は最悪で、
常に死亡フラグが
立っている危険な状態…

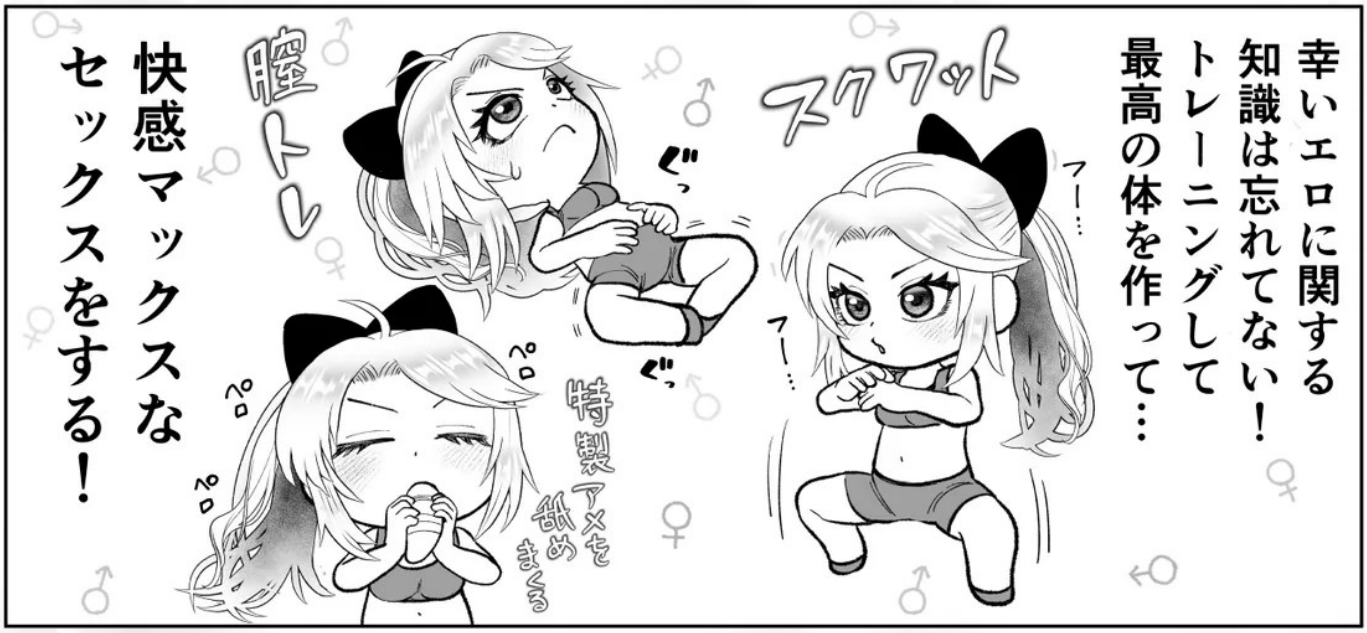
非常に
まずい!!

全裸にする魔法で
どうやって身を
守ればいいの?!

セーブ&ロードを
繰り返してゲームを
進めていたのに

一発で死亡フラグ
全てをへし折るなど
不可能に近い!

ならば…



でも一人で技術を
磨くのは限界がある…

協力者が
必要だわ！

魔法担当の
家庭教師
ローラン
彼以上の
適任者は
いない！
イザベラお嬢様、
今日も基礎の復習から
始めましょうね

ローラン先生
今日はご相談したい
ことがあるのです
ペコ…
ス…
…真剣な目…
やはり変な魔法しか
使えないことを
お悩みなのだろうか
パタン…
私でよければ
なんなりと…

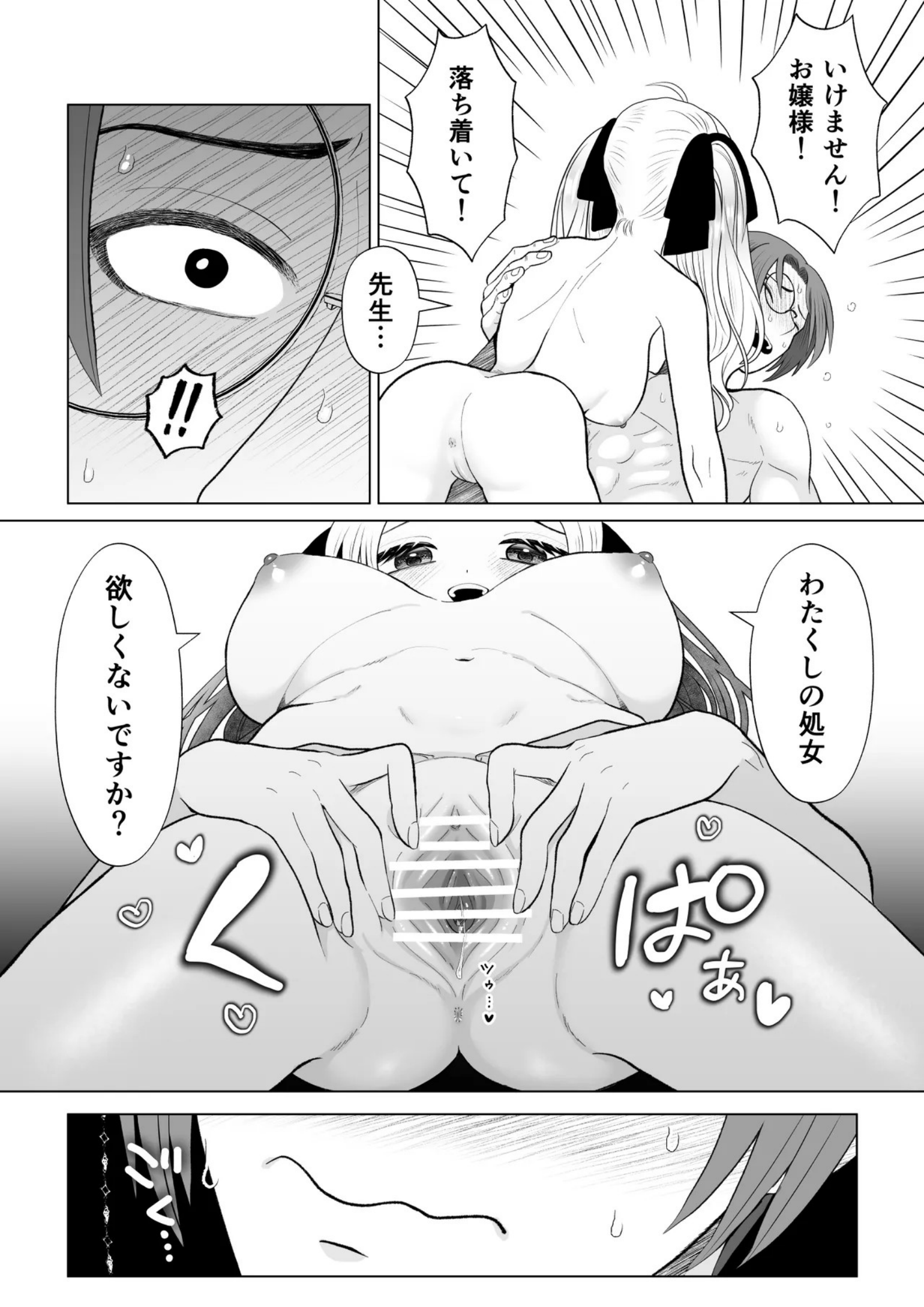
実はわたくし…
いつ死んでも
おかしくないのです
!?
ガタッ
お嬢様、それは
どういう――

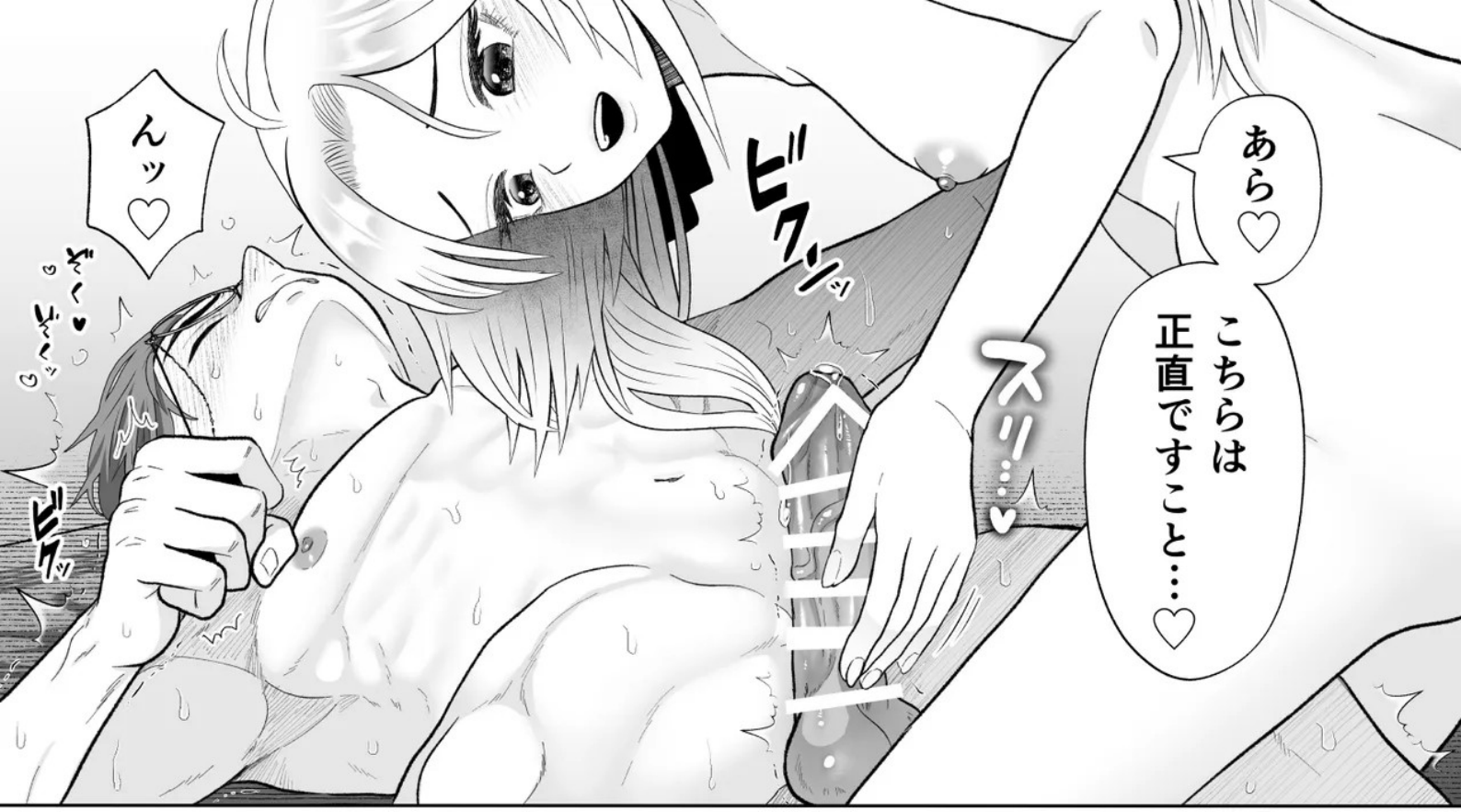
表向きには事故として
処理されていますが
わたくしが階段から
落ちて死にかけたのは
弟のミシェルに
突き落とされたからです
ミシェルを怒らせた
わたくしが悪いのは
分かっておりますが…
また怒らせたら…
次は確実に命を狙って
攻撃してくるはず…

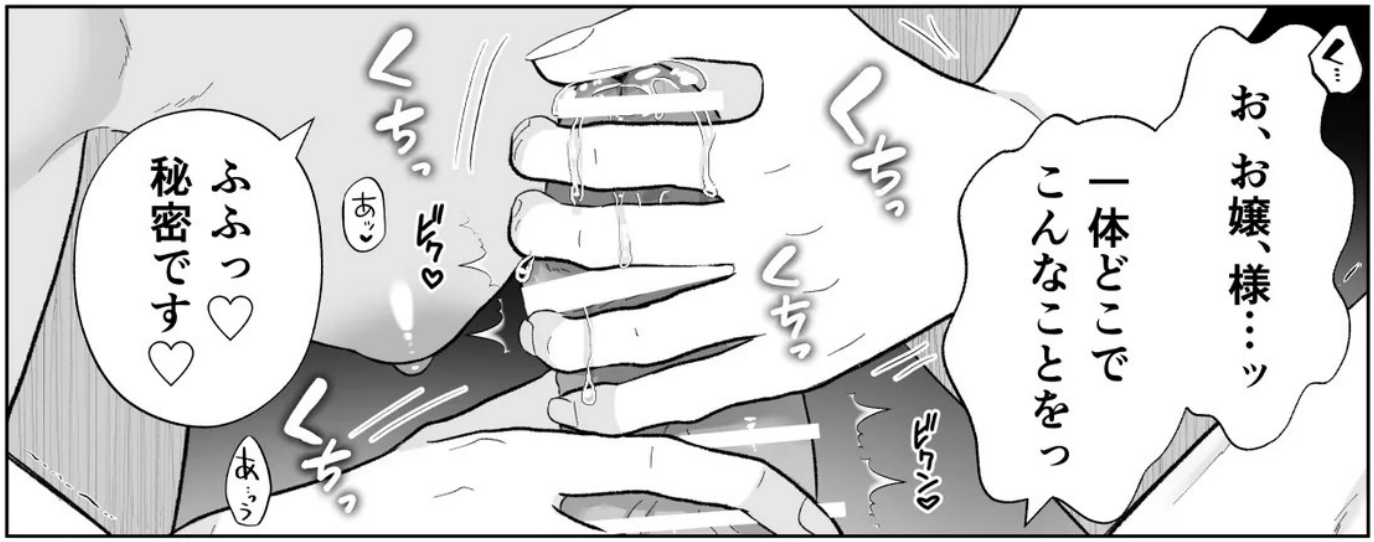
父は多忙ですし…
男児であるミシェルを
優先しがちなのは事実…
わたくしの魔法では
身を守ることなど…
お嬢様…
怒らせなければ
いいのでは…？

ですからー

アーン
パロ
!?!?!
ズッ
おおおお
お嬢様ッ!?
ばっ
いつ死ぬか
分からないなら
カラン
バサッ
バサ…
気持ちよく
イきたいのです♡
ヒク…

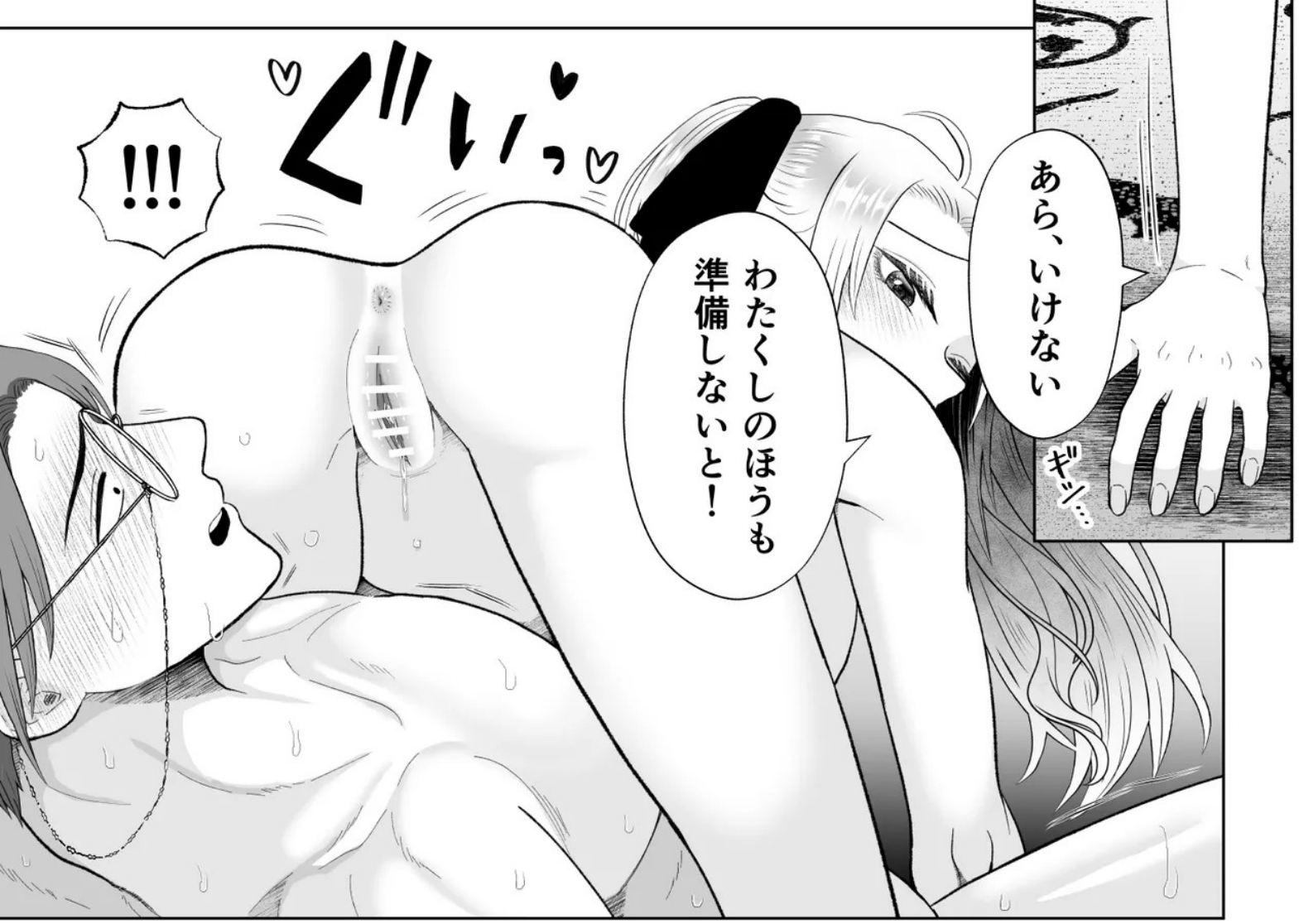

いけません！
お嬢様！
落ち着いて！
先生…
!!
わたくしの処女
欲しくないですか？
ぱぉ
ツゥ…
ごくっ…


あら♡
こちらは
正直ですこと…♡
ビクンッ
スリ…♡
んッ♡
ぞく♥
ぞくッ
ビクッ


お、お嬢、様…ッ
一体どこで
こんなことをっ
くちっ
くちっ
くちっ
ビクン♡
あっ♡
ふふっ♡
秘密です♡
あっ♡

ローラン先生の
我慢汁で
ぐちょぐちょ♡
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
びくっ
びくんっ
あっ♡
意外と汗の
匂い強め…♡
は…
ひくっ
ひく…
!!
ダメです!
やめ――

あぁッ♡
ぴゅっ
ぴゅっ
ぴゅっ
ぷはぁっ♡
はぁ♡
男くさぁい♡
ローラン先生のおチ○ポ、おっきくてずっとは咥えていられないですわ♡
ちゅっ
ちゅうぅ
ちゅぅ
うっ♡
ぞくっ
ぞくっ
ぞくっ
ぞくっ
ちゅっ
ちゅる♡
お嬢様っ♡いけま…んんッ♡
ちゅる～
ちゅっ
あっ♡


あら、いけない
ギッ…
わたくしのほうも準備しないと！
!!!
ぐぃぃっ♡

さぁ、先生も…
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ハァッ
ハァッ
な・め・て♡

イザベラ様ッ!!
はぁんッ♡
ちゅうっ♡
ちゅるる♡
ぢゅぷッ♡
ぢゅっ♡
ゾクゾク
ガツッ
ぞくっ
ぞくっ
ぞくっ
ぞくっ
ビクッ

あぁ、お嬢様の…♡
なんて可愛らしい…♡
こんなことっ♡
許されないのに♡
夢にまでみた
お嬢様のマ〇コ…
最高だ…ッ♡
あッ♡
んッ♡
あんッ♡
あ♡
あぁ♡
レロ
レロ
レロ
ちゅぷッ
ぢゅうぅ♡
あぁん♡

はぁ♡
きもちいいっ♡
ねぇ…先生ッ♡
奥がうずくのっ♡
早くほしい…♡
ん…っ♡
しかし、ちゃんと
慣らしたほうが…
コッチが
いいのぉ♡
〜〜〜ッ♡
はぁ…
ちゅっ
ぢゅ〜…
スポッ
ぢゅん
くちゅ
スポッ
スポッ
はッ…
はぁ♡
ぺろ♡
れろ♡
はぁっ
ジコ
ジコ
ジコ

痛みは魔法で
消します……
私も…もう…！
あっ…♡
ドキ♡
ドキ♡
イッ
くぷ…

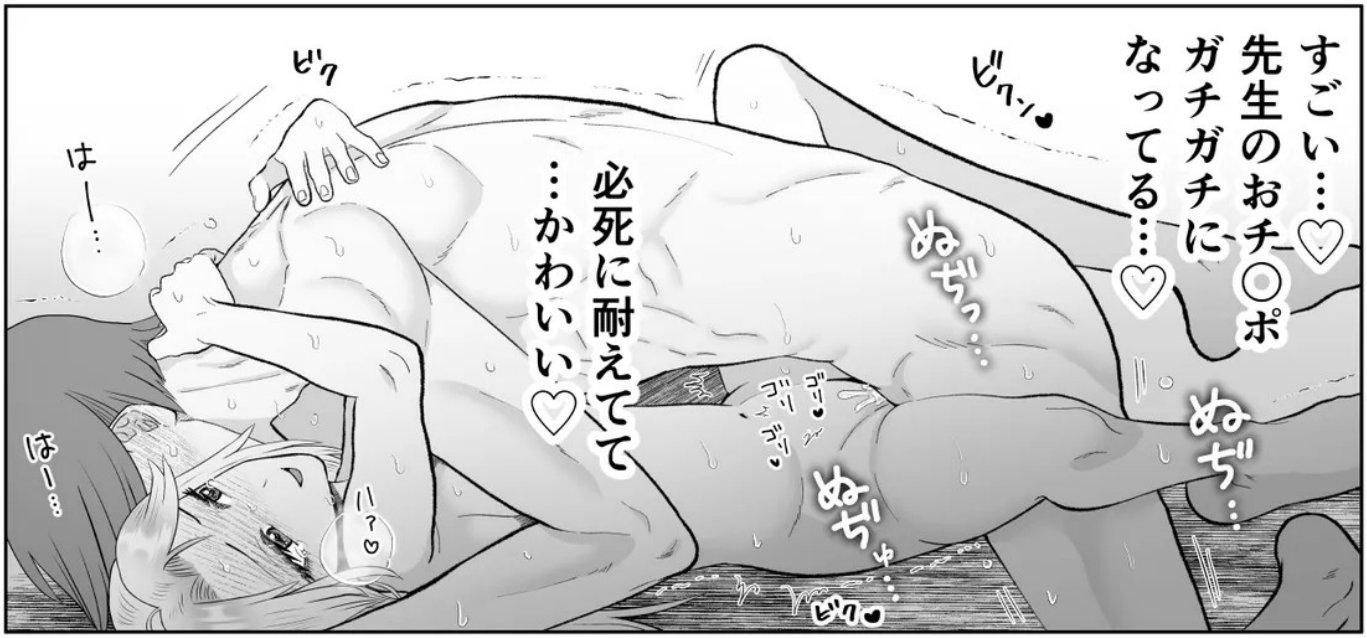
ズレ
あなたが欲しい！
ビクッ
ビクッ
おぁん♡
ビクッ
ブチッ
ズププッ
ビクーン

やば…♡
魔法のせい？
先生のチ○ポ
気持ちよすぎ♡
ん…はやく…
もっと動いてっ♡
は、ぁ…♡
お嬢様…ッ♡
あぁ…イザベラ様の
感じている表情…
たまりません♡
初めてお会いした
時から、私はあなたに
劣情を抱いて…っ！

妄想のなかで
お嬢様を何度も…！
本物のお嬢様の
マ〇コ…っ♡
気持ちよすぎて…！
ローラン
せんせっ♡
わたくし…っ
うれしいですわ♡
パンッ
ズブッ
ぐちゅ
ビク♡
あっ♡
はぁっ
んぃっ♡

これでいつ
死んでも…
悔いはないですわ
…そんなに悲しい
ことを言わないで
ください…
え…

私でよければ、
いつでもお相手
いたしますから…
先生…♡


すごい…♡
先生のおチ○ポ
ガチガチに
なってる…♡
ビクン♥
ビク
はー…
ぬぢっ…
ぬぢ…
ぬぢゅ…
ビク♥
必死に耐えてて
…かわいい♡
はー…
ハァ♡

ローラン先生、
このまま中に
ください…♡
ハァ…
はあっ
し、しかし…
初めて
だからこそ
中に…♡
ビクン♡
ビク♡
ビクン♡
ビクン♡

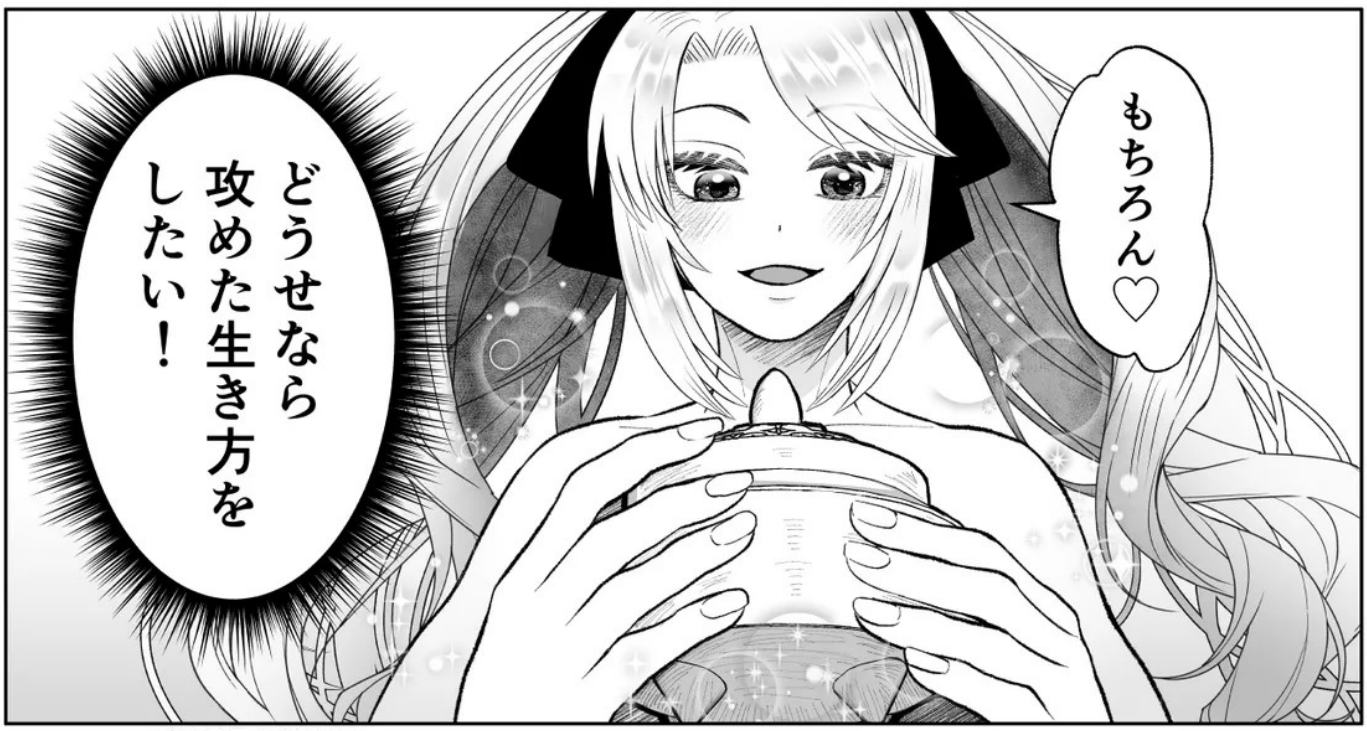
あとでお薬飲んでもらいますからね！
お♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ

これからは私の
えっちな研究…
手伝ってくださいね♡

研究…？

こうして私は
最高の協力者を
手に入れた

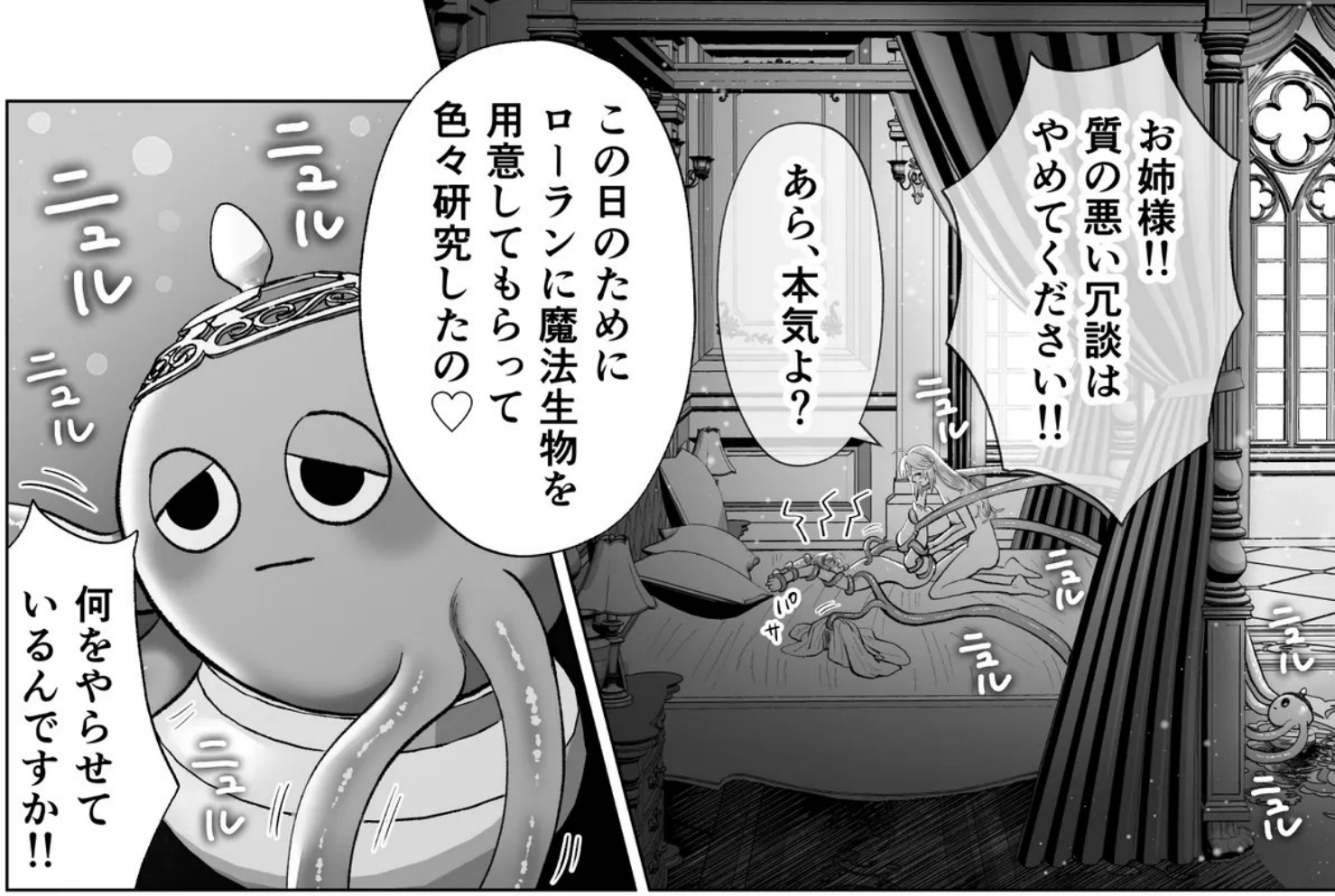
ローラン先生のおかげで毎日とっても充実♡
♪
カチャン
♫
いつ死んでも悔いは残らないように楽しんでいるけれど…
ガク
はぁっ
ガク
はぁっ
ガク
はっ
ガク
ガク
お嬢様…本当に…「それ」をミシェル様に使用されるのですか？


もちろん♡
どうせなら攻めた生き方をしたい！

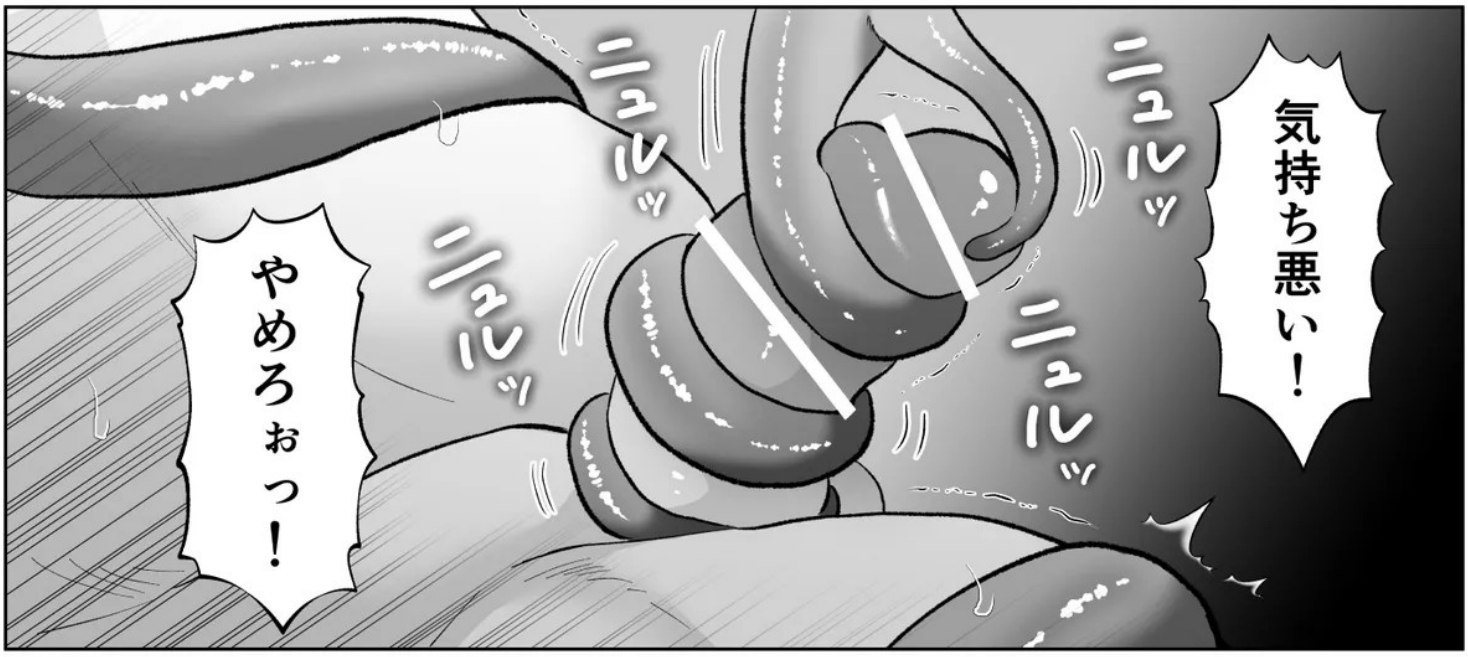
ということで…

ニュル…

ミシェル
スリ…♡
仲直りしましょ♡

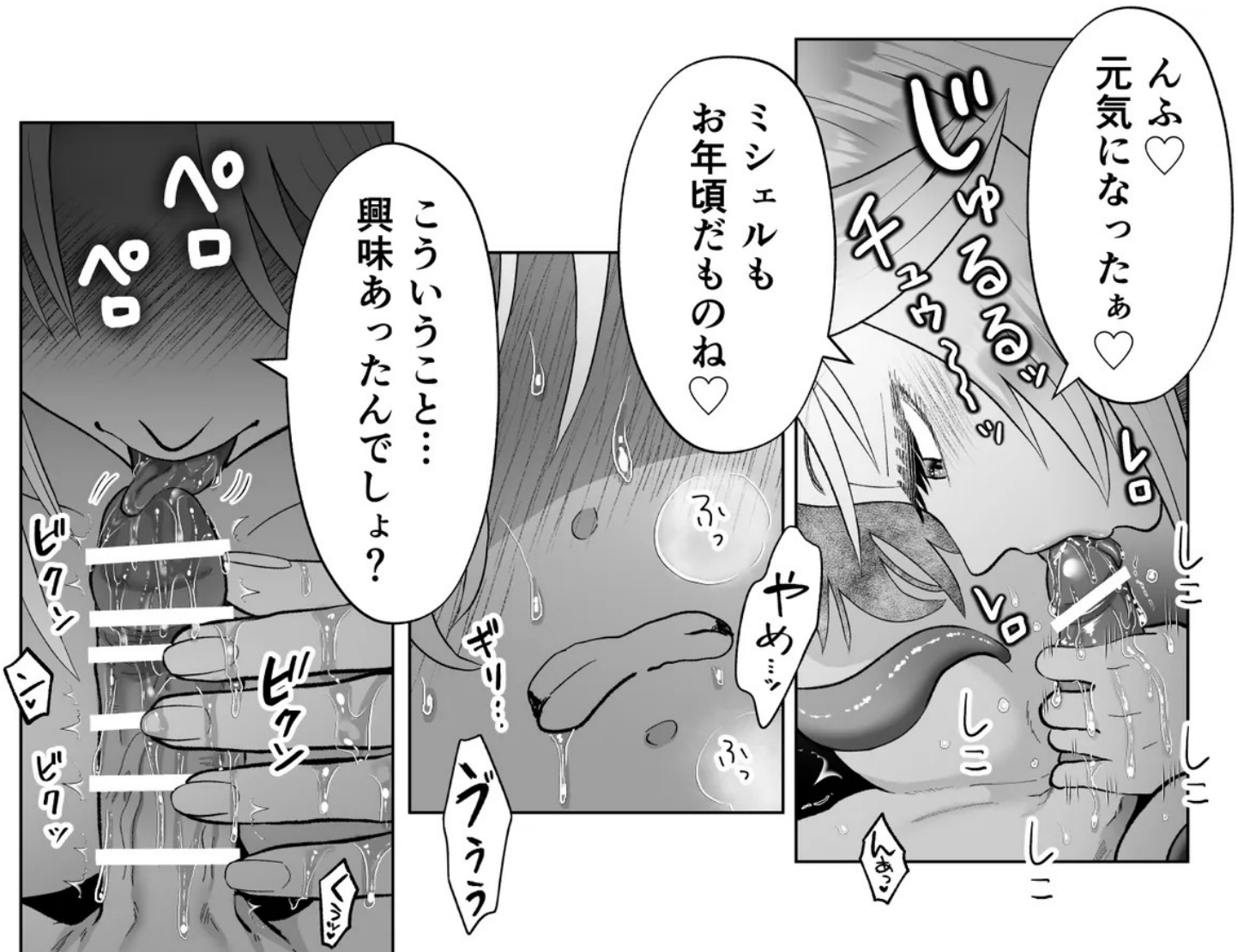

お姉様!!
質の悪い冗談は
やめてください!!
あら、本気よ?
この日のために
ローランに魔法生物を
用意してもらって
色々研究したの♡
何をやらせて
いるんですか!!
ニュル
ニュル
ニュル

ニュルッ
ニュルルルッ
ビクッ
ぞわっ
ぞわわっ
ひいいッ!?


気持ち悪い！
ニュルッ
ニュルッ
ニュルッ
ニュルッ
やめろぉっ！

あら…触手は
初めてで怖いから？
…それなら
こっちで…
ふにゃ…
レロ…
ビクッ
ひっ
ビクッ
ぞくぞくぞく。

舐めっ?!
ビクンッ
ビクッ
やめろ、やめろ!!
汚いだろっ!!!
ビクンッ
ビクッ
あっ
ぐりぐり
ぐにゅ
ぐにゅ
ひぁ
じゅるる〜♡
チュポッ♡
じゅぷっ♡
チュポ♡
チュポッ
んっ
大丈夫♡


んふ♡
元気になったぁ♡
じゅるるッ
チュゥ〜〜ッ
レロ
レロ
しこ
しこ
しこ
しこ
んぁっ
ミシェルも
お年頃だものね♡
ふっ
ふっ
やめ…ッ
ギリ…
ブラ〜ン
こういうこと…
興味あったんでしょ?
ペロ
ペロ
ビクッ
ビクンッ
ビクッ
くぅぅ

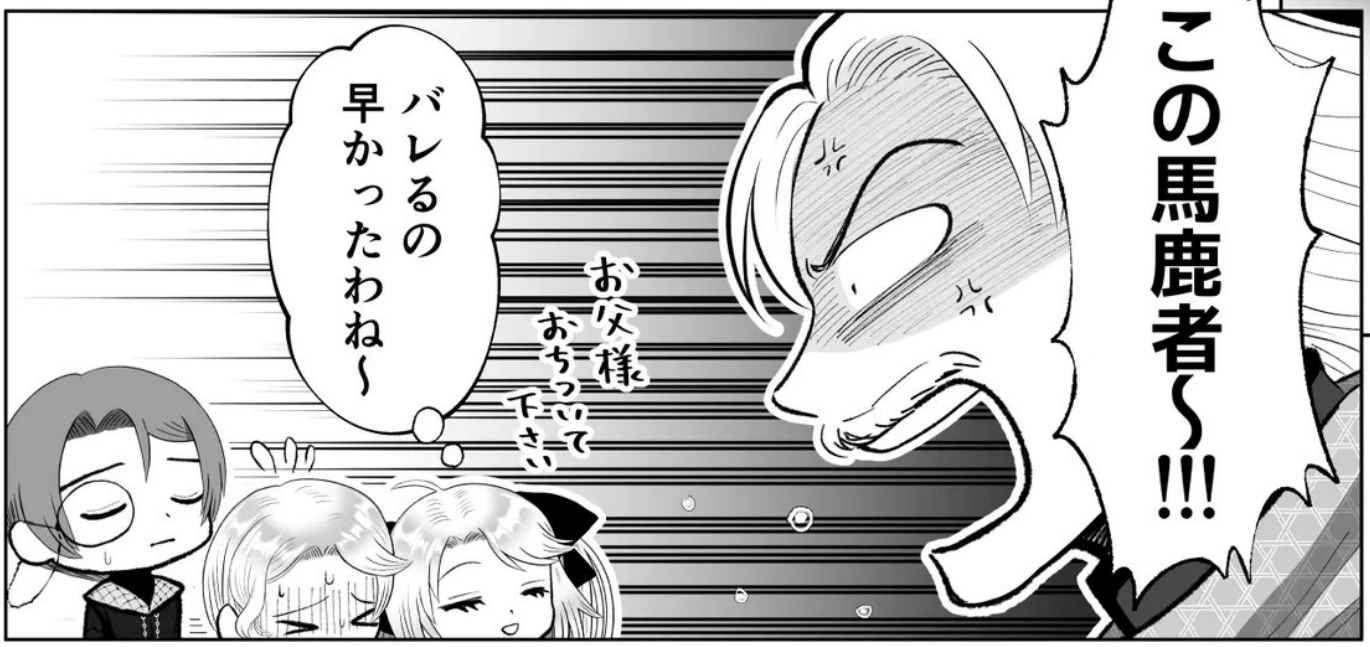
もっと気持ちよくなってもらえるように……
ちゃんと準備してきたの♡
ぱ♡
く
とろ…
や、やめろ…！
はっ
はっ
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ドクッ
お前、狂ってるぞ！僕たちは姉弟でー
ぴくっ
ぴくっ
狂ってる？
私を殺そうとしたあなたが言うの？

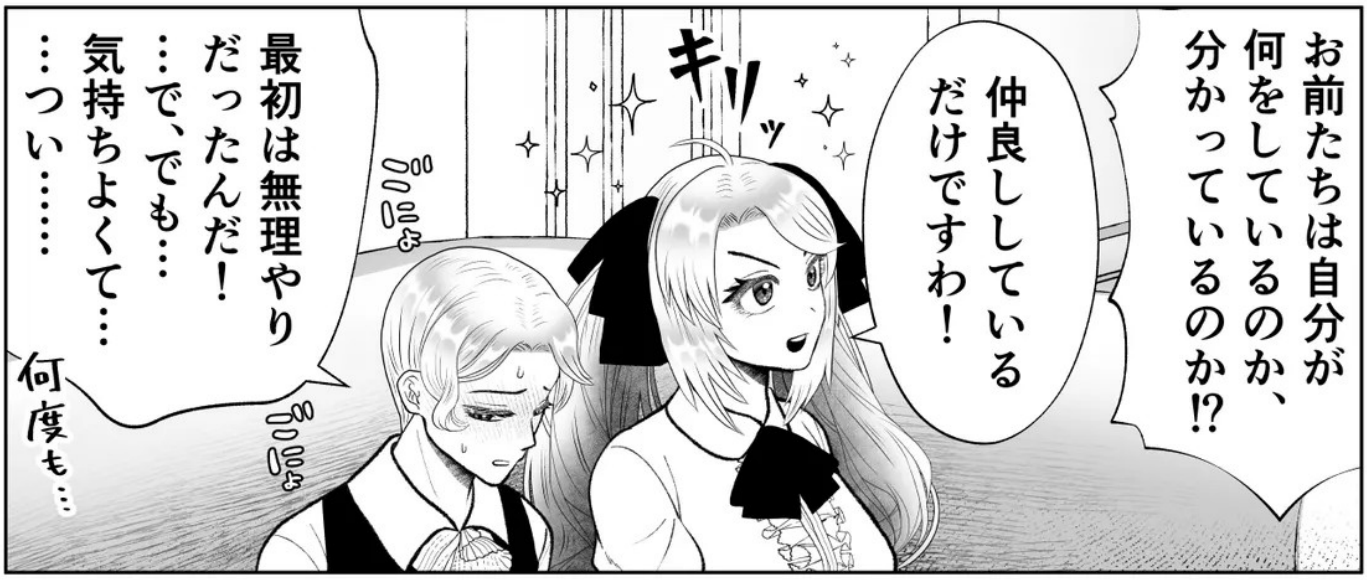
あ…
ぶぴ ぶぴ ぶぴ
ゾクッ ゾクッ
あッ♡
ビクンッ
ビクンッ
ビクッ
パンッ♡
パンッ♡
パンッ♡
パンッ♡
パンッ♡
パンッ♡
たぽっ♡
や、めッ…♡
だめ♡ ちゃんと 感じて？
はッ♡
はぁッ♡
ぢゅるっ
ぢゅるるッ
ぢゅるっ
んっ♡
ぞくっ
ぞくっ
ぞくっ
私はもう 喧嘩したくない
気持ちいい ことしか したくないの♡

ごめんなさ…っ♡
もうあんなことっ
しないからぁ♡
やめてよぉ…ッ
ばちゅッ
ばちゅッ
ばちゅッ
ばちゅッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
あぁ♡
やっ
はんッ♡
ぐちゅッ
ぐちゅッ
ぐちゅ〜っ
クリ
クリ
クリ
ミシェル可愛い♡
これからは
気持ちいいこと…
はぅ♡
パン
パン
パン
パン
ハァッ
ハァッ
ビクン
ビクン
ビク♡
ズブッ
ズブッ
ズブッ
い〜っぱい
しようね♡
やぁっ
あぁ

お姉様ぁ…ッ！
ビュルルッ
ビュッビュッ
ビクッ
ミトポッ
ビクッ
ビクッ
ビク

いっぱい濡らしてゆっくり……♡
ぬぷっ……
ぬぷぷぷッ
ひっ!?お尻に……っ……アッ……♡
だめ、だめっ♡あっ、やだぁ……♡
グチュッ
グチュッ
グチュッ
グチュッ


この馬鹿者〜!!!
お父様 おちついて下さい
バレるの早かったわね〜


お前たちは自分が何をしているのか、分かっているのか!?
仲良ししているだけですわ!
キリッ
ごにょごにょ
最初は無理やりだったんだ!
…で、でも…気持ちよくて…
…つい……
何度も…
ごにょ

…頭が痛い…
諭すべき立場の私が欲に負けてしまい…申し訳ございません…覚悟はできております
…娘に手を出したお前を罰したいところではあるが…

イザベラが淫乱だという噂が、貴族中に広まっている…
いずれ平民の耳にも入るだろう
よからぬことを考える輩から、イザベラを守る為にローランの力が必要だ
来年は王立学園に入学という大事な時期にこんなことになるとは…

そもそもだ！お前には婚約者のエリオット王子がいるだろう！
そういうことがしたいのなら、何故王子としないんだ!?

わたくしだってエリオット様と仲良くしたいですわ
でも誕生日会のお誘いすら断られていますのよ！

お父様…
わたくしのこの行動にはきちんとした理由があるのです
……

わたくしは
学園入学後…
近いうちに
死ぬでしょう

それが分かって
いるからこそ！

気持ちイイこと
いっぱいシて
死にたいのです！

あ、駄目だ
コレ…

あぁ…
頭を打って
おかしくなって
しまった…

ぐぐぐ

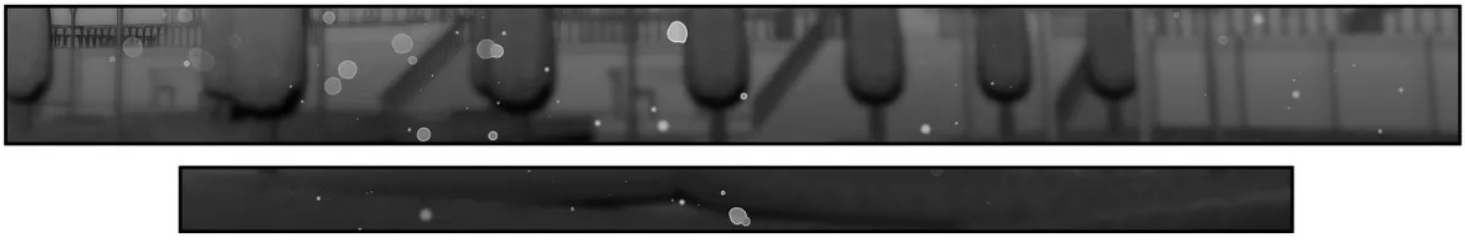
ズキ
ズキ
ズキ

ごめんなさい…
僕が悪いんです…
うぅ…ッ…

お葬式は家族葬を
希望しますわ！

お前がこんなに狂ってしまったのは仕事ばかりしていた私の責任だ…
王子との婚約はまだ破棄できないが…お前が嫁にいかなくていいようにする…
だから！
これ以上誰かと深い仲になるな！いいな!?
努力しますわ～

イザベラ!!!
怒らないでお父様♡
パァン
服を破くなー!!



そして月日は流れ
私は王立学園に
入学した

学園では寮生活になるが
私の部屋にはローランと
ミシェルが魔法を使って
出入りできるようにした

この二人で我慢しろ！
いいな、イザベラ！

わかって
おります～

私だって死にたい
わけじゃない

魔法の実技はしない
ように手配してるから
せめて座学は満点
とりたいわね…

学園を卒業したら
実家でずっと暮らして
いいって言われているし

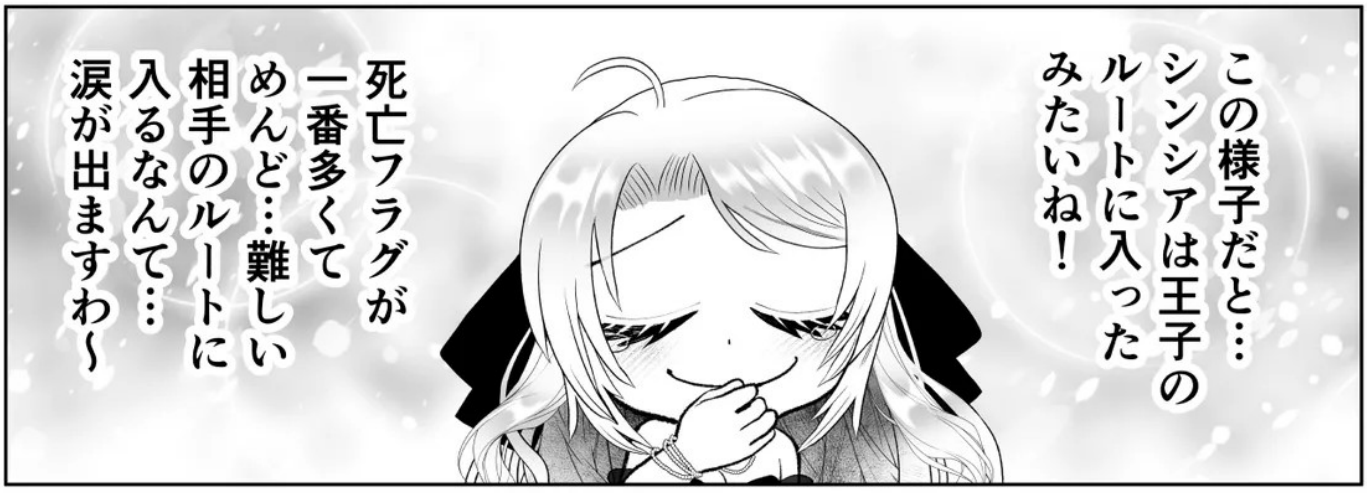
このまま平和に
生活できるなら
自分から動いたり
しないわ～

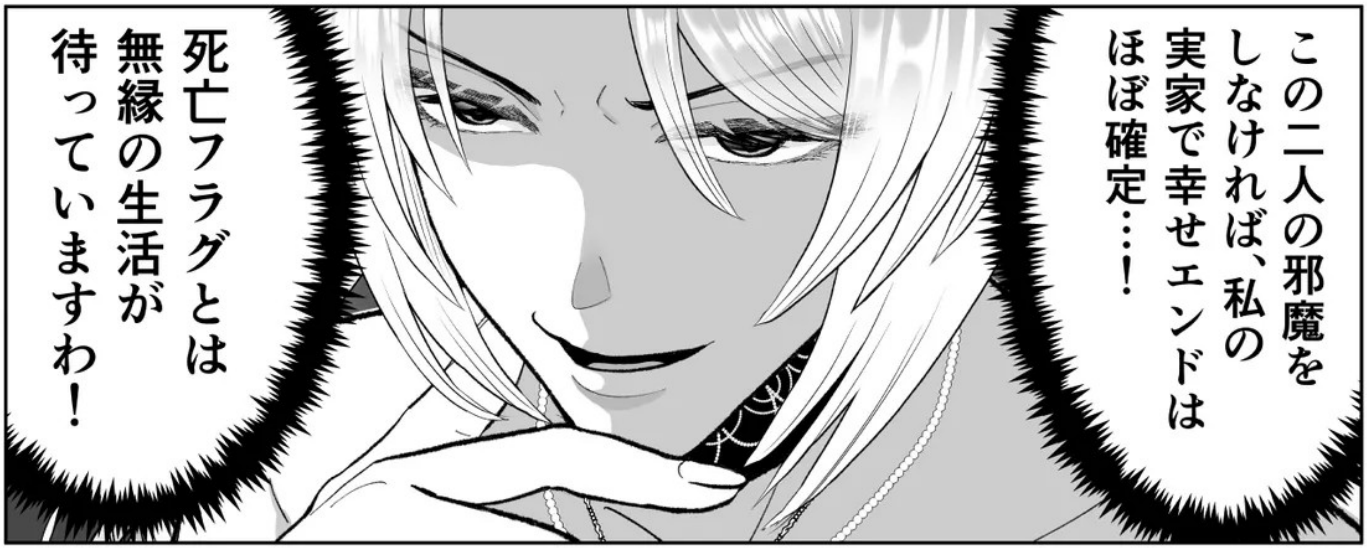
ザワッ

ザワ…

？

あ、エリオット王子と…
ヒロインのシンシアだ！
公的なパーティーに
婚約者の私を誘わず、
こちらからの連絡も
無視していたし
……今もほら、
隣に座っても
目も合わさない


この様子だと…
シンシアは王子の
ルートに入った
みたいね！
死亡フラグが
一番多くて
めんど…難しい
相手のルートに
入るなんて…
涙が出ますわ～


この二人の邪魔を
しなければ、私の
実家で幸せエンドは
ほぼ確定…！
死亡フラグとは
無縁の生活が
待っていますわ！

明るい未来
二人とも…
お幸せに！
安全
安心
ぎゃあああっ！
安全
安心
明るい未来
!!!!?!!!??!?!??

ガシャーン!!
自分から落ちていった?!
すごい音が…
…シンシア!?
ザワ
えっ!?
イザベラ様!?
まさか――
ザワ
というか吹っ飛んだ!!
ザワ
あわわ。
無理やりイベントを発生させ…あ!!
ピーン!

そうだわ!私が悪役にならなければイベントが進まない!
イベントを進めていくことで、死亡フラグを分かりやすくしているのだわ!

シンシアも転生者である可能性が高い!
そして、あちらも生きるために必死ということ!!

関わらなければ
安全だと
思い込んでた！
さらば！
私の平和な
学園生活…！
なにか言い残すことは？

学園どころか
人生の終焉!!!

しかし！
私はいつ死んでも
いいように生きてきた…

ここでも悔いは
残さない…！

殿下

私(わたくし)は何もして
おりません！
説明を――

うるさい！

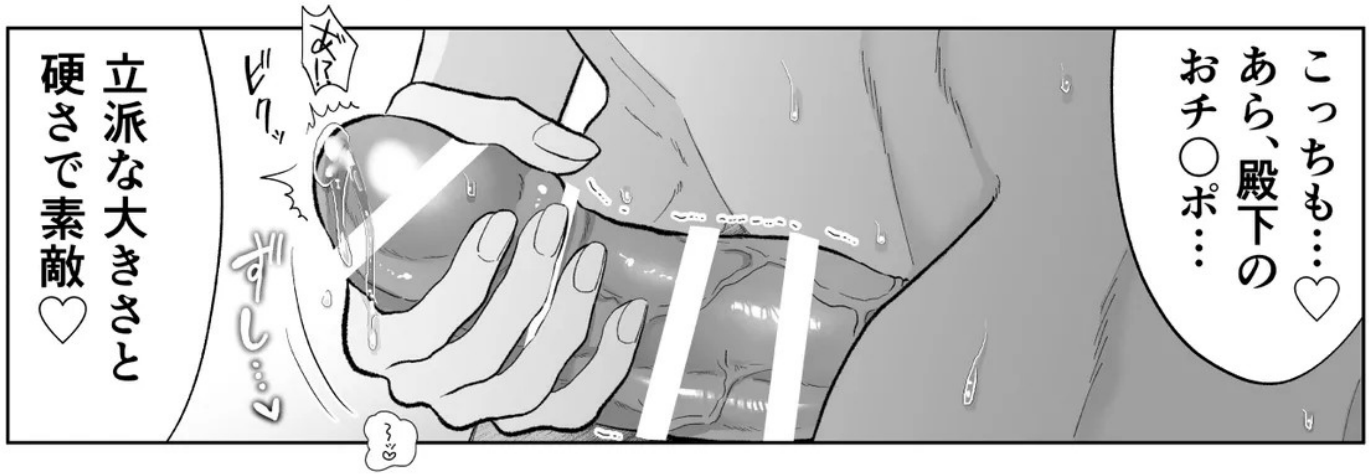
俺がお前を構わず、
シンシアと一緒にいるから
八つ当たりしたんだろう!?
自分の師や弟と
淫らなことをするお前が！
俺の婚約者だなんて
死んでも認めない！
殿下！
落ち着いて
ください！
シンシアは汚れた
お前と違って美しい
存在なんだ！
そんな彼女を
傷つけたお前を
許したりしない！
キイイ
チッ
私の話を―
ヒュッ
黙れ!!!

?!??
ブルンッ
あら…
まぁ～♡

な…っ!?
なにをした!?
私(わたくし)の魔法のこと…
ご存じなかったのですね
王室の方にも隠匿
出来ているなんて…
我が家の魔法使いは
優秀ですわ～
ポイッ
ポイッ
元王宮魔法師
そんなことより…
エリオット様は私(わたくし)を
殺そうとしましたよね?
ま、まて!!!
ちょ…っ!?
人の生き死にを前に
そんなにおチ○ポ
おっ立ててたなんて…
ド変態♡
スル…♡

さ、触るな！
ぞくっ
ぞくっ
……っ
ぞくっ
はッ…
スリ
スリ
スリ
スリ
ぐぐっ
くす…♡
…と言いつつ
抵抗しないのですね
全裸になって
弱気になりました？
ビクッ
ビクッ
ふぅ♡
ふぅ♡
ッ…♡
ガク
ガク
ガク

外で控えている
従者を呼ばない
のですか？
こんな姿を！
見せるわけ…
…くっ…！
ふふっ♡
可愛い声♡
乳首、弱いの
ですね…♡
ちゅッ♡
ちゅッ♡
フーッ
フーッ
ん
フッ
きゅっ
ぐりぐり
ぐりぐり
んんッ♡
ぎゅっ♡


こっちも…♡
あら、殿下の
おチ○ポ…
立派な大きさと
硬さで素敵♡
あ♡
ビクッ
ずし…♡

や、めッ…♡
あぐ…ッ♡
大嫌いな女に
おチ〇ポこすられて
感じちゃって…♡
エリオット様が
性に素直で
嬉しいですわ♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ

レロ♡
ぬぷぷ…♡
ぢゅっ♡
ぢゅるッ
うわああッ!!!
ビクッ
ビクンッ
エリオット様!?
入ってくるな!!
大丈夫…っ…
だか…ら…アッ♡
ビクッ
ビクンッ
あッ♡
ぐりぐりっ
ぐりぐりっ
ちゅこ
やめっ♡
イザベラ…!
ぢゅこ♡
おぁッ♡
ちゅこ♡
一体どんな
プレイを
してるんだ…
ムラムラ

なんで…っ!?
尻を舐められながら
しごかれてる
だけなのに…ッ！
気持ちよすぎる♡
おッ
ビュルル

はー…ッ
はー…ッ
ガクッ
ガクッ
ヒクッ♡
ヒクッ♡
快感に負けた
王子の姿…
最高♡
きゅんっ♡
きゅうっ♡
ぴくっ
ぴくっ
ガクッ
ガクッ
ぐぐ…
ハァ…
あぁ…♡
!?
今度はコッチ
ですわよっ！
ビクンッ
ビクンッ
ろろろ!!
ズブッ
ぶしゅ

なんだこれ!?
絡みついて締めあげてくる!
さっき出したばかりなのに…もう…ッ…!!
まぁ♡まだ動いてもいないのに…ザコすぎですわ♡

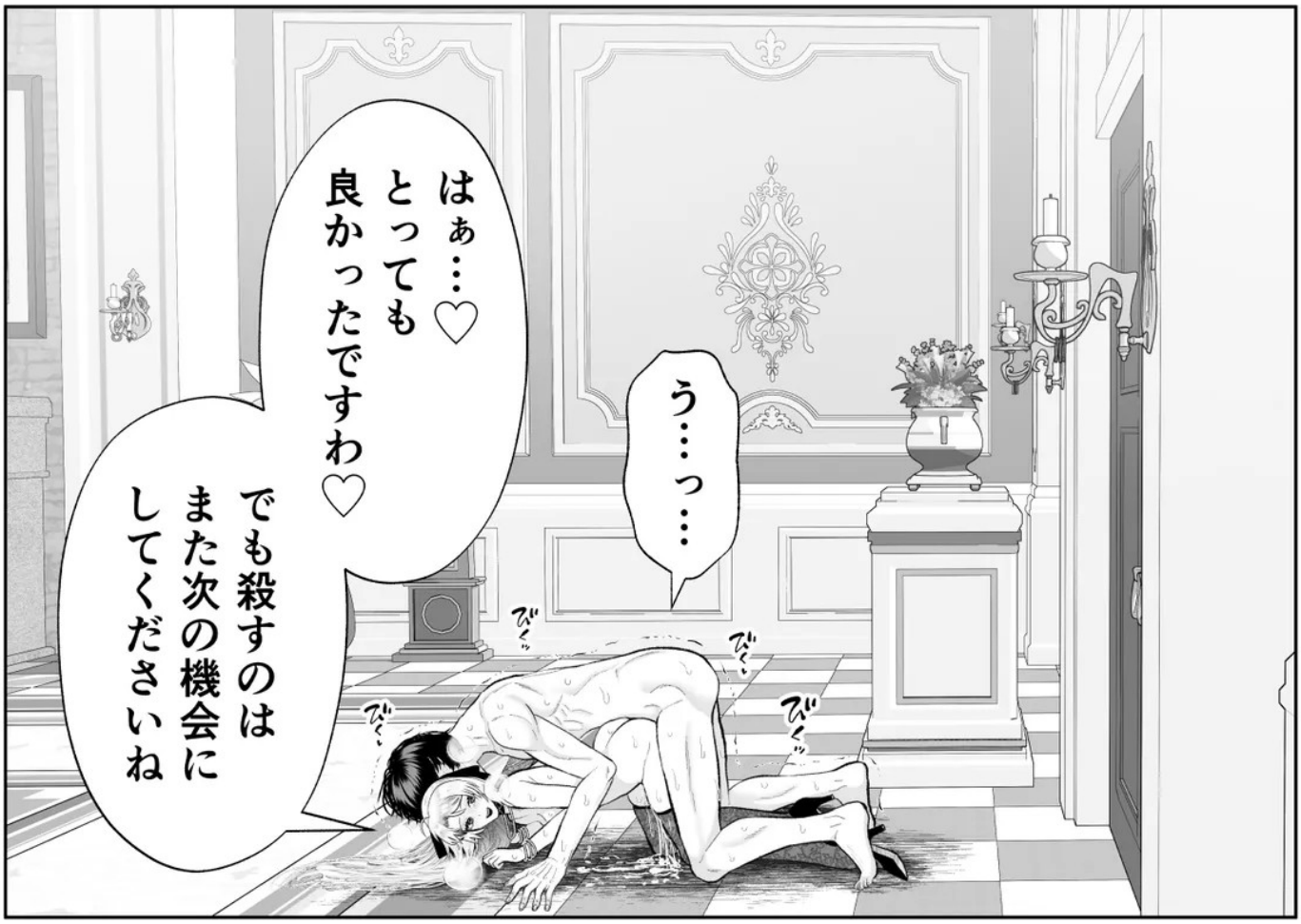
でも！
私はまだ満足して
いませんわよっ！
ズチュッ
ズチュッ
ズチュッ
ズチュッ
ブポッ
ビクッ
ビクッ
ビクンッ
あ♡
いくっ
ぜくっ
イザベラッ♡
ダメだっ♡
ぐッ
ぐっ
ぐッ
ぐッ
ぐッ
もう…♡
これ以上は！
ぬぢゅ
ぬぢゅ
ぬぢゅ
あっ
あぁ
いくっ
うっ
いやだぁ…っ♡
クス…
はッ…♡
その情けない
声と表情…
とっても素敵♡
イラッ

俺を見下すなッ!!
あんっ♡
イイですわ♡
んっ♡
好きなように
お使いになって♡
クソッ!
くそぉッ!
なんでこんなに
気持ちいいんだ!?

エリオット様♡
もっと…もっと♡
イザベラ…っ♡
あ
あっ
あぁ
ハンッ
ハンッ
ハンッ
ハンッ
ハンッ
ハンッ
ゴッ
ゴッ
ゴッ
きゅうっ♡
きゅうううう♡
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ズブ
ズブ
ズブ
ズブ
あぁ…ッ♡
気持ちいい♡
腰がっ♡
勝手に動く♡
んっ
あ
あぁ〜っ♡

うっ…でる♡
でる…ッ♡
エリオット様♡
どうぞ
このまま
中に…っ♡

ビクビク
ンッ♡
ビクビク
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
ブシュウウッ♡
ビクッ♡

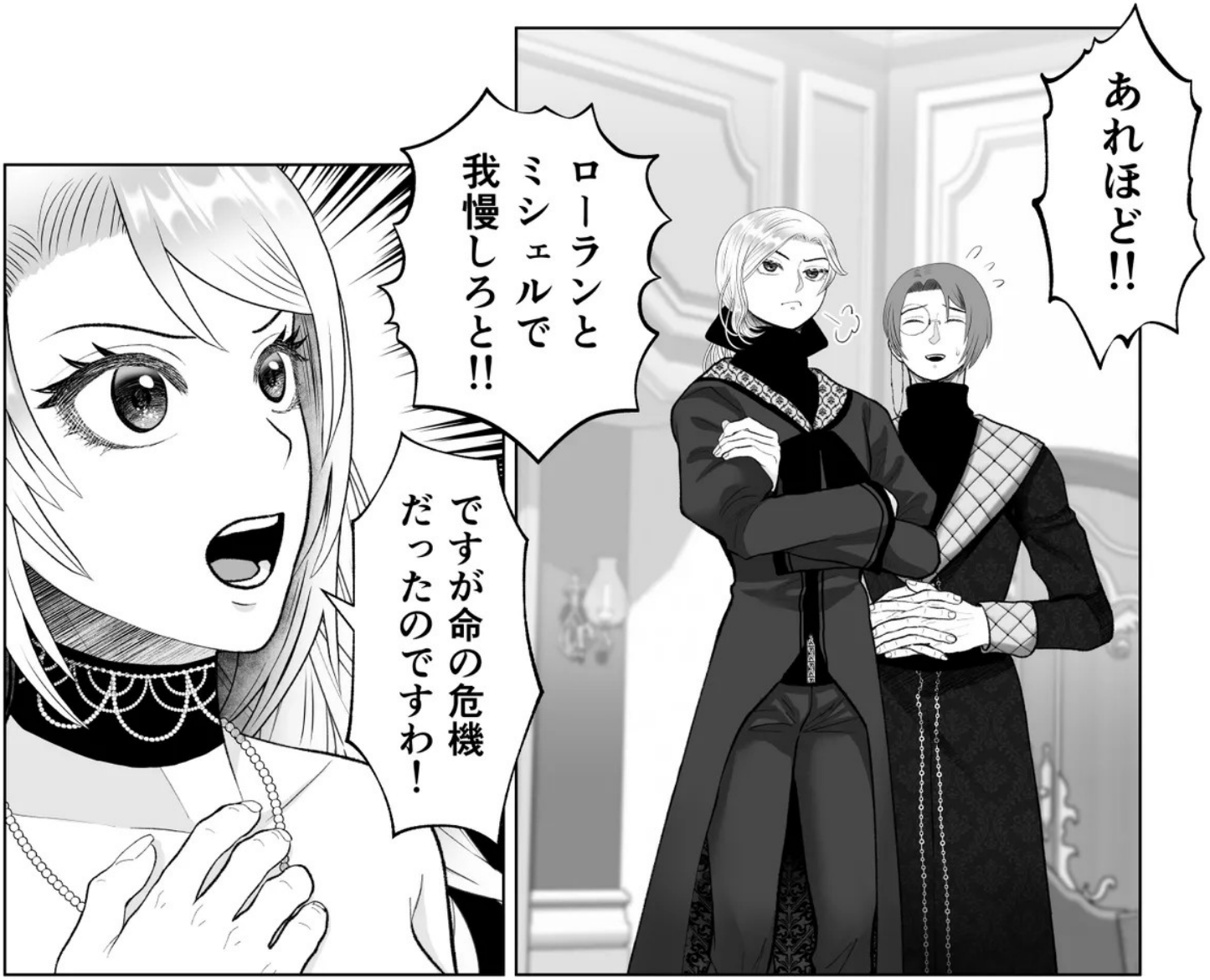

う…っ…
はぁ…♡
とっても
良かったですわ♡
でも殺すのは
また次の機会に
してくださいね
びくっ
びくっ
びくっ

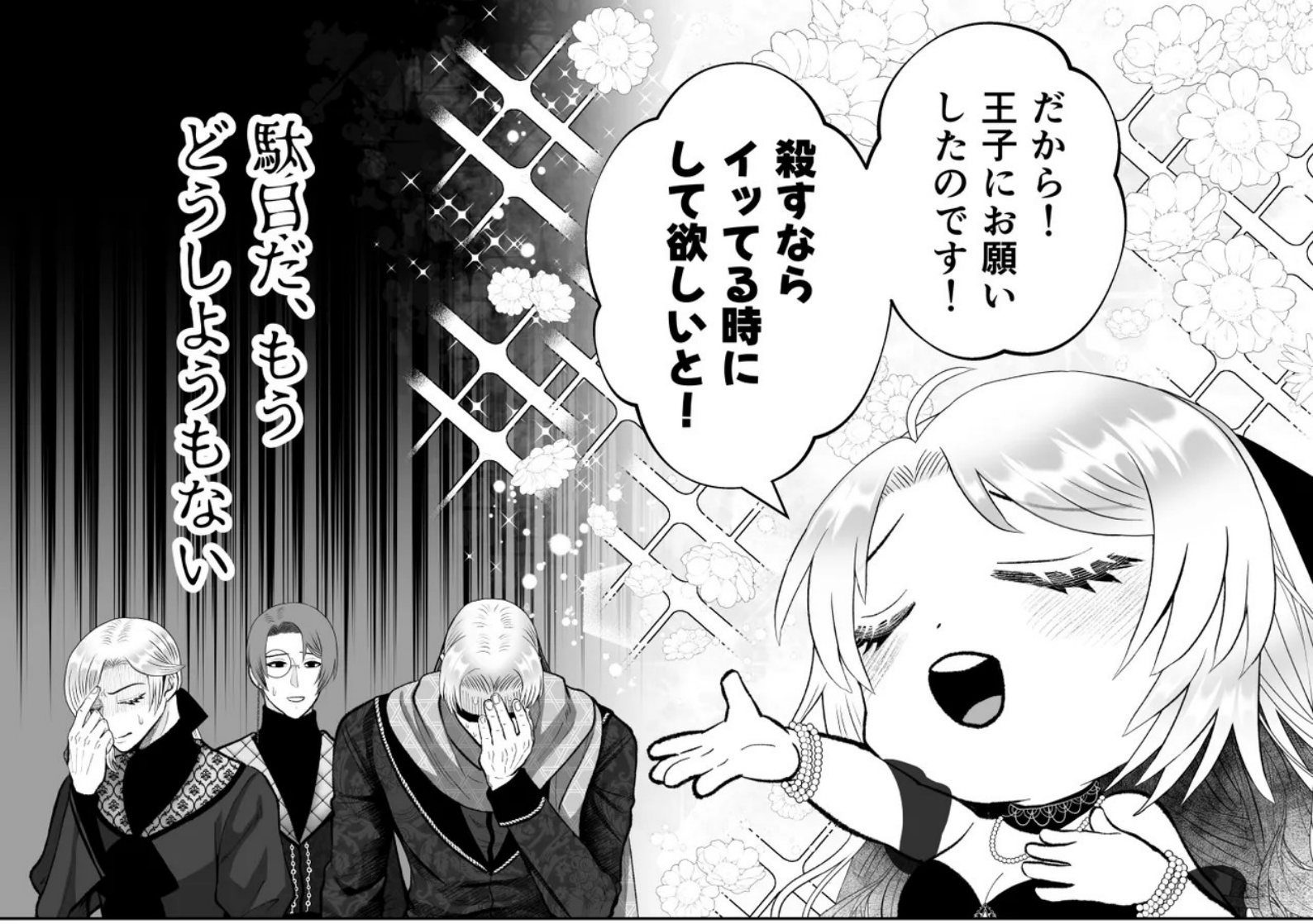
どうせなら
イってる時に…♡
ちゅっ
ドキッ

…お前はバカなのか？
父によく言われますわ♡
殺る気が失せた…
あら！
クス…
こっちはまだヤる気みたいですけど…？
ぷにゅん♥
ビクッ
ビクッ
ビクンッ
ビクビク♡
んッ
くくくっ！

殺す！
素敵！
思いっきり
イかせて
くださいいね♡
くっ…♡
まて！
イザベラ…ッ♡
……
あぁッ…♡
パーン
パーン
パーン
パーン
パーン

ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ
イ〜ザ〜ベ〜ラ〜!!!
お待ちになってお父様！
婚約者と仲良くなったのは、良いことではないでしょうか？


あれほど!!
ローランとミシェルで我慢しろと!!
ですが命の危機だったのですわ！


だから！
王子にお願い
したのです！
殺すなら
イッてる時に
して欲しいと！
駄目だ、もう
どうしようもない

申し訳ございません
侯爵様…私がお嬢様を
満足させられないから
こんなことに…！
いえ！僕が毎日
通わなかったから、
お姉様は寂しくて…
いいえ！
私との時間が
少なかったから！
何を言うローラン！
お姉様は僕とのー
二人とも黙れ
ズキ
ズキ
ズキ

こうして王子との
死亡フラグを
へし折ったものの…
私の周囲は
違う意味で
殺気だっている
今日は私が！
ギャーッ
いや今日は僕！
ギャーッ
王子の俺が優先に
決まっているだろう！
ギャーッ

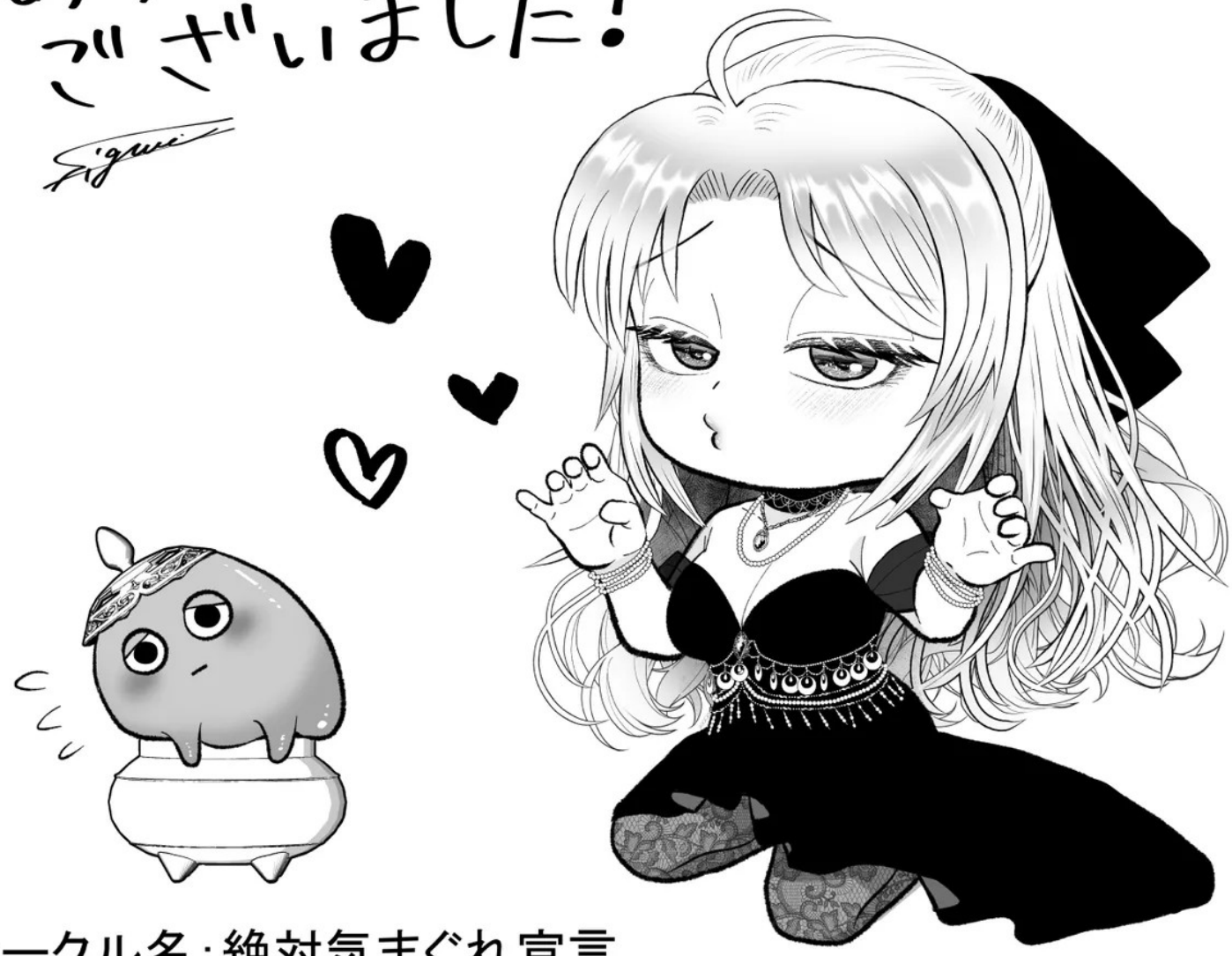
エリオット様は
シンシアとは
しないのですか？
ヤイヤ…
するわけ
ないだろう

シンシアは穢れのない
美しい存在……
肉欲を発散するのは
お前で十分だ！
まぁ酷い♡

…ふふ♡
皆一緒に、気持ちよく
なりましょうか♡

さぁ、死亡フラグ
じゃないモノ…
立てちゃいますわ♡

お買い上げ
ありがとう
ございました！



サークル名：絶対気まぐれ宣言
作者：sigure

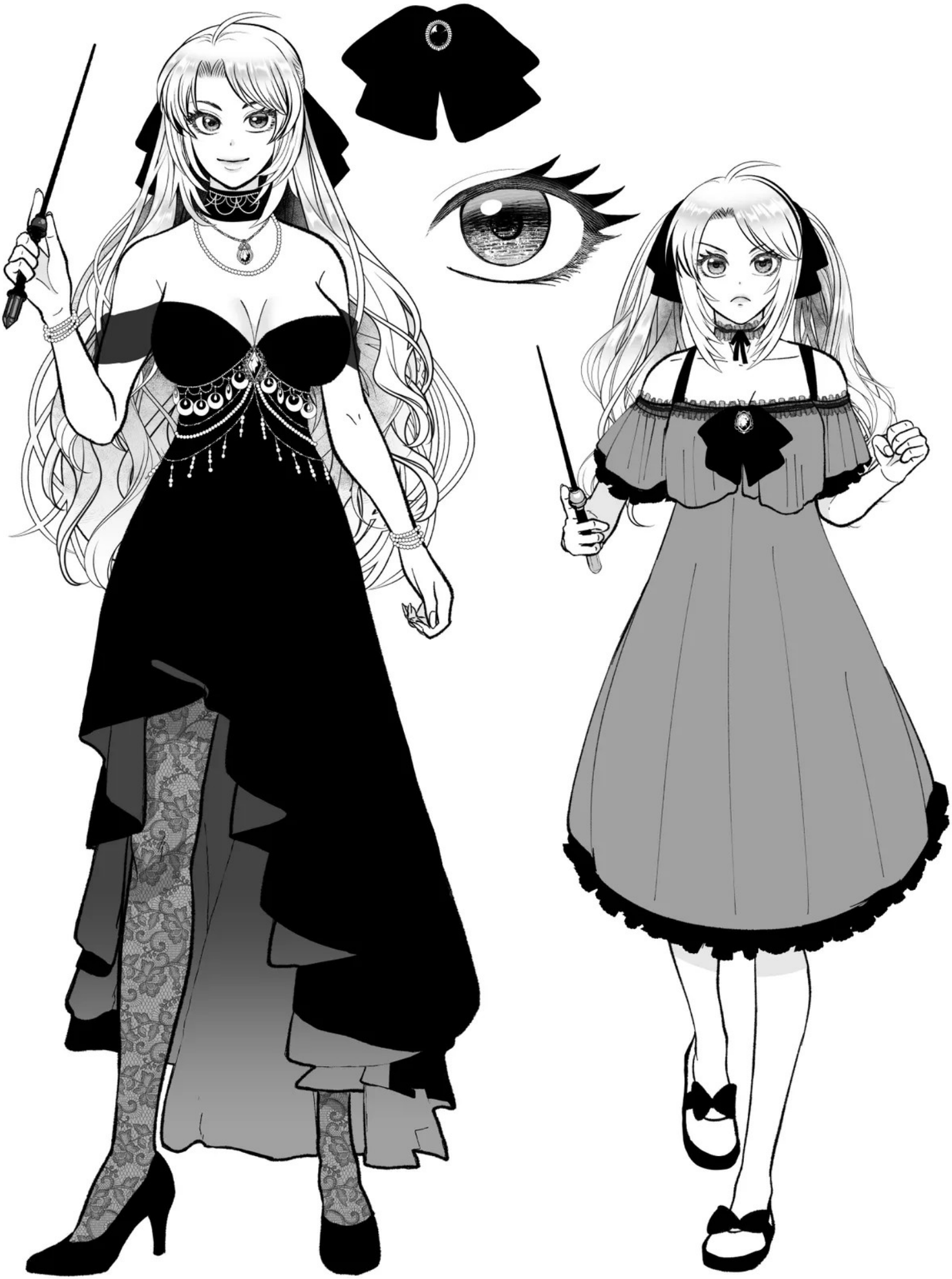
主な活動場所【pixiv】
https://www.pixiv.net/users/651750

18禁専用Twitter
https://twitter.com/sigure77457617

表紙デザイン　古條 凛　様
https://skima.jp/profile?id=135213

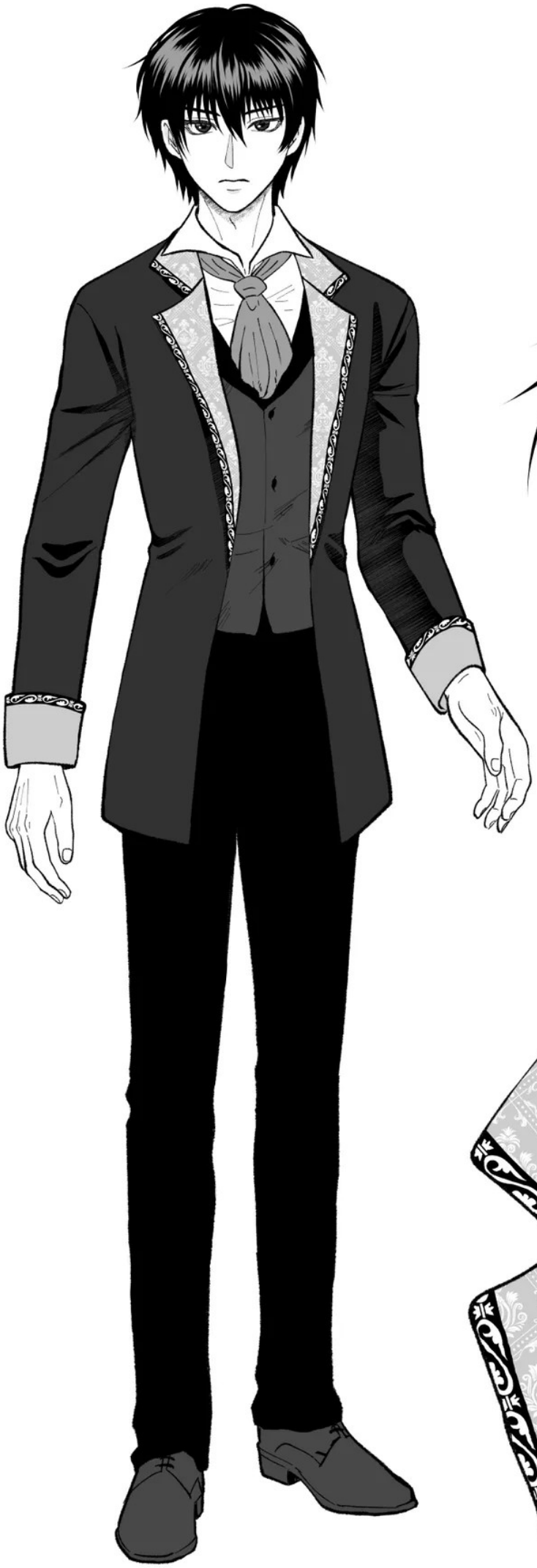
【オマケ】　キャラデザ①

イザベラ



【オマケ】　キャラデザ②

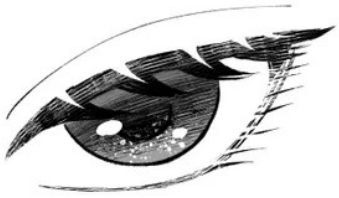
エリオット

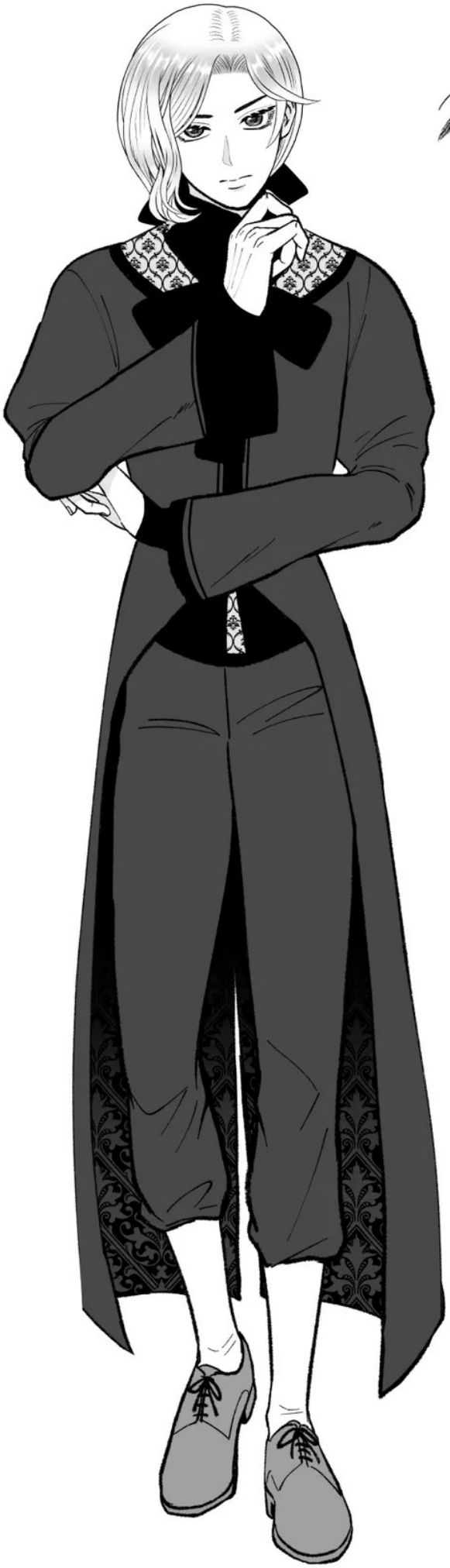


【オマケ】

キャラデザ③

ミシェル





【オマケ】　キャラデザ④

ローラン

【オマケ】　キャラデザ⑤

お父様＆シンシア